

会 議 録

- 1 会 議 名 木更津市立公民館運営審議会第3回定例会
- 2 開催日時 平成27年12月18日(金) 午後3時30分～5時
- 3 開催場所 木更津市立中央公民館 1階 大ホール

4 出席者氏名

【公民館運営審議会委員】18名

平野 千津子	平岡 憲子	本多 二三代	村上 淑子
石井 京子	松尾 玲子	青木 健	古藤田 憲之
三上 由美子	鈴木 正	森田 美保子	鳥取 真由美
山田 治子	渡利 明	安藤 清康	澤邊 賢司
瓜田 栄一	鶴岡 俊之		

【公民館長】15名

渡邊 雅夫 (中央公民館)	伊藤 勉 (八幡台公民館)
高橋 栄二 (富来田公民館)	泉水 義治 (東清公民館)
江野澤 和彦 (岩根公民館)	原 敏美 (清見台公民館)
石塚 幸一 (鎌足公民館)	山口 玲子 (畑沢公民館)
小原 俊郎 (金田公民館)	若鍋 知幸 (岩根西公民館)
小川 恵市 (中郷公民館)	加藤 芳生 (富岡公民館)
根本 弘 (波岡公民館)	伊藤 孝 (文京公民館)
林 正巳 (桜井公民館)	

【事務局職員】3名

星野 隆弘 (中央公民館主幹)
栗本 優 (中央公民館主事)
稲村 員代 (社会教育指導員)

5 議 題 議案第1号 地域づくりとこれからの木更津市の公民館事業のあり方
について

～第1回・第2回諮問検討小委員会の結果を踏まえて～

議案第2号 平成27年度公民館文化祭（まつり）及び文化祭視察研
修の実施結果について

報告事項 (1) 各種委員からの活動報告
(2) 平成27年度君公運審連・君公連合同研修会について
(3) 平成27年度千葉県社会教育委員連絡協議会表彰受
賞について
(4) その他

6 公開又は非公開の別 公開

7 傍聴人の数 0人

8 会議概要 以下のとおり

*開会に先立ち、事務局より委員の出席状況について、定数20名に対し過半数18名の出席があり、木更津市立公民館運営審議会運営規則第6条の規定により、会議が成立した旨の報告が行われた。

続いて、山田委員長の挨拶に続いて、山田委員長の議長により審議に入った。

山田委員長：議案第1号「地域づくりとこれからの木更津市の公民館事業のあり方について」審議いたします。前回の定例会で諮問されて以降、諮問検討小委員会（以下、小委員会）を立ち上げ、これまで2回の小委員会が実施されておりますので、はじめに、そちらの進捗状況や概要について報告をお願いします。

*諮問検討小委員会の青木委員長より、第1回諮問検討小委員会会議録をもとに報告がなされる。

古藤田委員：副委員長として補足いたします。諮問委員会はアンケートなどを参考に議論した内容です。追加点があれば、みなさんよりお願いします。

山田委員長：それでは、ただいまの報告に対して各委員からの発言を求めます。

各地域の現状と課題について特に感じていることや公民館の実状、さらに公民館が今後どのように対応していくべきか等、自由にご意見をお願いします。

山田委員長：委員の方より意見をうかがいます。併せて各公民館等の課題等についても意見を求めます。

渡利委員：検討事項であれば、もっとの的を絞らないと意見がまとまらない。

青木委員：自分の地区のことでどうか。小委員会では、8名の意見であるので、他の方の地区のこともお聞きすることで、木更津市全体のことが見えてくると考えています。

森田委員：子ども会が減っている。市子連が110から今は、20あるかないかに減っている。その原因は、役員が嫌だからという大人の都合で子ども会がつぶれている。小学校区ごとのブロック単位であったが、そのブロックさえもなくなってきている。細々と町内会でやっているところも多少もあるが、子どもたちが、自分達で運営している子ども会はないといっている。八幡台は子ども達にやらせていると聞いている。公民館の事業として、サタデースクール事業などを行っているが、子ども会との関わりは薄い。公民館には、もっと子ども会に関わってほしい。

山田委員：子ども会と公民館との関わりはどのようにあるべきだと思いますか。

森田委員：桜井は子どもを中心とするクリスマス会や文化祭とかがある。やりたい5・6年生中心に計画を立て、そこに公民館が関わっている。公民館だけでなく、地域の活動をサポートする大人がほしい。

山田委員長：他の地区や公民館ではどうでしょうか。

渡利委員：子ども会の減少、子どもの数が少なくなってきて運営ができないのではなく、大人が忙しく子ども会自体を運営できない状況にある。清見台も房総カルタ大会、縄跳び大会は子ども会主催だが、だんだん参加者が少なくなってきている。古い町内会や子ども会がつぶれる中で、新しい真舟小学校の子ども会は今盛んである。子ども会を指導する母親、親の積極性がない。町内会も応援するが、リーダーシップをとる親達がない。広報活動もしながら子どもの活動をやっ

ているが、様々な視点から子ども会減少の原因を捉えていく必要があり、上辺の呼びかけでは思うように進まない。

伊藤館長 : 振興住宅地を控える八幡台、羽鳥野地域では子ども会が活発である。役員のなり手が無いので、八幡台有志会という八幡台子ども会役員のOB会が作られている。このOB会が現役員を助けることで、子ども会が継続化していく要素となっています。現役の役員を助ける会が発足したので、公民館としては、この有志会を取り込んで、文化祭で子ども会と一緒に活動しています。

山田委員長 : 各公民館でも地域の子どもの会について考えてほしいと思います。学校と地域・公民館の関わりについて、平野委員ご意見はございませんか。

平野委員 : 子ども会、青少年育成に関する行事については、子ども達にできるだけ参加するように話しています。今年の公民館まつりでも40数名の参加者がありました。学校のほうでも地域に関わらせたいという意図があります。地域で認められると、子ども達にいろいろなところで声を掛けてもらえます。地域で認められる機会が増えることで成長していくし、また、地域を見つめるいい機会にもなると思っています。青少年健全育成会議を足掛かりに公民館に積極的に関わっていきたいと思います。今後は、普段の関わりをどうしていくか考えていきたい。

山田委員長 : 公民館まつりでのボランティア活動は意義のある活動です。子ども達を積極的に地域に送り出すことは大切なことだと思います。地域で声をかけることで子ども達も自分達を見てくれていると安心します。中郷ではどうですか。

三上委員 : 中郷はまち全体が狭いので、敬老会、子ども会などで声を掛け合い、地域全体で参加しています。全体で参加しないと行事が成り立たないのです。子ども会単独の行事はなくなってきています。ただ、地区には、まだ子ども会の行事があるので、豚汁作りなどを決めると地域みんなが協力し、どんどん進めていきます。他の地域よりも活動の数が少ない分、一つ一つの活動は充実したものになっています。

山田委員長 : 小さいには小さいなりの地域力があることは、中郷にとって意義あることだと思います。安藤さんいかがでしょう。

安藤委員 : 地域の課題についてですが、町内会、自治会の活性化が必要だと思います。

公民館の事業に個々に人を集客することよりも、町内会、自治会の活性化を通じてやらないと地域全体の動きにならないのではないかと。町内会、自治会も高齢化が進み、役員のなり手が少ないという現状があるが、この点についてはどう考えているのだろうか。

青木委員：みなさんで問題点を出し合い、整理しながら方向性を示していけるようにしたい。

古藤田委員：アンケートの質問2や質問3の結果を見てもわかるように、高齢化の問題点は出てきており、いろいろな観点や立場から考えていきたい。

安藤委員：公民館の主催事業をやるには、それなりに手助けが必要です。今は、個別に協力を求めている非常にエネルギーがいるが、地域とのパイプを持てれば、全体の活性化に繋がると思います。

山田委員長：見直すべき点は見直し、良いところは伸ばす。いろいろな意見を出してもらいながら、小委員会で話し合っていきたいと思います。

石井委員：中央公民館は宿泊体験の手伝いを婦人会が行っています。地域が広く、組織が大きいので、町内会としての参加はしていません。婦人会は、主に買い物やカレー作りの手伝いをしました。また、ボランティアとして若い学生にも手伝ってもらいました。

山田委員長：大きいには大きいなりの大変さがあるようです。平岡委員、付け加えることがありましたらお願いします。

平岡委員：今年の夏の宿泊体験は、今年度木更津東高校の家政科の生徒が参加しました。われわれ婦人会より、子どもの年齢に近い生徒が関わってくれたことは非常に良かったと思います。中央公民館では、一小、西清小の二つの学校の子どもを対象に、「ぼんぼこラリー」と「宿泊体験、公民館に泊まろう」を地域の人やユースボランティアなどの若い人の力を借りて開催しています。「ぼんぼこラリー」や「宿泊体験」では、一小、西清小の二つの学校の子ども達が、一つのことを一緒に成し遂げる体験の機会となっています。一中に入学する前に、二つの学校の子どもたちが交流できることは、大変意義ある良いことだと思います。

山田委員長：若い人が公民館に足を向けるのは良いことですし、大事なことだと思います。若い人達が、こうした事業への参加をきっかけに、さらに公民館に足を運んでもらえたらと思います。鈴木委員、富岡のほうではいかがですか。

鈴木委員：富岡公民館は人数が少ないので、子どもも先生も一生懸命やっています。しかし、リーダーを育てることは、子どもの人数が少ないので難しい状況です。公民館は、学校と一緒に頑張って取り組んでいます。

山田委員長：富岡公民館まつりでは、入り口で生徒さんが作文を読んでいて、微笑ましくいい光景だと思いました。今年は、各公民館で子どもが色々な活動をやっている姿を拝見しました。富岡公民館のように、小さければ小さいなりの活動の良さがあると思います。

鳥取委員：私の子ども会役員時代は人数が多かったです。その後だんだん少なくなり、役員のみ手数が少なくなっているのが現状です。今、八幡台では子ども会を応援していることを初めて知りました。母親の都合で、子どもが子ども会に参加できないこともあるようで、残念に思います。羽鳥野地区が加わり、子どもの人数が増え、子ども会による行事やラジオ体操などで活動しています。子ども会の活動を通じて、ジュニアリーダーが育つなど、みんなで子ども達を見守っています。自分は、子ども会と直接関わっていませんが、子ども会の役員さんの話を聴いたり、相談にのっています。

山田委員長：大変でしょうが、お手伝いをさせていただきたいと思います。

渡利委員：提案をしたいのですが、今、高齢者は社会奉仕活動が少ない。年金生活者や定年を迎えた元気な人が、町内会や子ども会を引っ張っていける学習の場として公民館を使えないか、社会奉仕に対する啓発学習をしたら変わってくるのではないだろうか。自治会役員を見ても高齢者が多い。高齢者の方を積極的に社会奉仕に参加させることが、現状では得策となるのではないか。高齢者の生き甲斐となる社会奉仕や仲間づくりができれば、組織化もできるだろう。公民館にそういう学習ができる場がほしいと思う。

山田委員長：時間の都合もあり、このへんで発言を打ち切りたいと思います。貴重なご意見をたくさん出していただいたので、次回以降の小委員会の中で引き続き検討していただきたい。今後の日程について事務局より説明をお願いします。

*事務局より、答申に向けた1月以降の日程（案）について、説明がなされた。

山田委員長：続いて、議案第2号「平成27年度公民館文化祭（まつり）及び文化祭視察研修の実施結果について」審議いたします。事務局より説明をお願いします。

*中央公民館長より、平成27年度の公民館文化祭、及び同文化祭視察研修の実施結果の概要について報告がなされた。

渡邊館長：本年度の木更津市の公民館文化祭でございますが、概ね10月31日から11月1日の土日を中心に、16の公民館を会場に「文化祭（まつり）」が開催されました。

各公民館では、それぞれ地域住民や公民館利用者による実行委員会が組織され、地域色豊かに趣向を凝らし、絵画や書道、写真、手工芸、華道、児童・生徒の作品展示、合唱、舞踊、器楽演奏などの芸能発表、呈茶、囲碁将棋大会、太巻き寿司、などの各種体験コーナーなどのイベント、その他各種模擬店、野菜販売など多彩な内容で開催されました。

また、文化祭への中学生ボランティアの参加、地元高校生の出演、体験コーナーの開設、子どもチャレンジ大会などの各種イベントの開催のほか、地域の教育関係機関や団体との連携が進み着実に地域の輪が広がってきております。若者が文化祭に参加することにより、若者自身が地域が触れ合う場として、世代間のコミュニケーションの場として成果があるものと考えます。また、サークルや団体、地域の皆様からも、文化祭全体の雰囲気明るくなり、活気あるものとなったなど、多くの皆様から好印象の声をいただいております。

各公民館の主な成果等詳細につきましては、お手数ではございますが、配布資料でございます、平成27年度公民館文化祭事業報告書をご参照くださいますようお願い申し上げます。

また、各公民館長にご出席をいただいておりますので、なにかご質問などございましたら、のちほどお願い申し上げます。

次に、文化祭の視察についてでございますが、10月31日に11公民館の視察を予定通り実施いたしました。視察に参加していただいたのは、社会教育委員、公民館運営審議会委員、教育長、教育委員会事務局職員等、29名の方々の出席がございました。詳細につきましては、恐れ入りますが、会議資料5ページをご参照くださいますようお願い申し上げます。

なお、10月の24日・25日の、土、日を中心に実施した、文京公民館、畑沢公民館、岩根西公民館、11月の7日・8日の土日を中心に実施した、中央公民館、西清川公民館につきましては、今年度視察を実施いたしませんでした。個々に見学に行かれた委員の皆様もいらっしゃるということでございますので、のちほど、ご意見ご感想など頂戴できればと思います。視察の時間帯により、状況が一様ではございませんが、それぞれの公民館におきまして文化祭の実態をごらんいただくことができたのではないかと考えております。

今年度、公民館文化祭に参加された団体は、全体で1062団体、参加人数は、33,710人でございます。各公民館の平均の参加団体数は66団体、平均の入場者数は、2106名でございます。参加団体については、例年と比較して大きな変化はございませんでしたが、参加者数において、若干の増加が見られました。

山田委員長：ただいまの報告に対して、各委員からの質問や意見を求めます。

事務局：文化祭視察結果報告の補足になりますが、10月31日の祭り視察は11館で、1館あたり約20分間の視察となりました。アンケート結果によれば、20分では短いので、もう少しゆとりのある計画を、という意見がありました。9時30分に出発し、3時前には終わるという日程にするには、視察する公民館の数を減らすしかありません。年度ごとに視察する公民館を変えていくという方法も含め、みなさんのご意見を伺いたいたいと思います。

山田委員長：それでは、文化祭視察の方法も含めて、あらためて意見を願います。

村上委員：確かに視察時間が20分では短いですが、半分ではなく全館視察したい。

本多委員：半分半分にしたほうがいいと思います。

澤辺委員：公民館まつりの関係者からすれば、やはり見に来てもらいたいはずで、できるだけ多くの公民館に行き、みなさんを激励したいと思います。

松尾委員：複雑です。展示の側からすれば多くの方に見てもらいたいし、見る側からするとゆっくり見たい気がする。

事務局：視察館が多いと出発が早くなります。そうすると、最初の視察館は、準備が

間に合わず、また、最後の館は後片付けの時間になってしまいます。できるだけ文化祭が盛り上がっている様子を見てもらいたいという公民館側の意見もあります。

山田委員長：全体派と半分派（じっくり派）の両方の意見があります。館長さんのご意見も伺いたいと思います。

林館長：桜井公民館は、例年早いか遅いかのどちらかになってしまいます。実質的に全館を視察しているわけではありません。全館が公民館まつりを開催しているので、複数回にわたり全ての公民館を廻ってほしいと考えます。

山田委員長：1日の視察では時間的に大変なので、2日間に分ける方法もあります。今年は、11館が同じ日だったので、最後の桜井公民館は大変だったと思います。他にないようでしたら、報告事項に移ります。

*各選出委員から活動経過について、続いて事務局からその他について報告が行われた。

（1）各種選出委員からの活動経過報告

① 木更津市生涯学習推進協議会委員

松尾委員より、2回目の会議が開催されていないため、報告事項はなし。

② 木更津市社会教育委員

青木委員より、第3回目定例会が本日同時開催されており、そちらは欠席。

③ 木更津市図書館協議会委員

本多委員より、去る7月23日に図書館で第1回会議が開催され、平成26年度事業報告、平成27年度事業計画について協議されたことや、図書館主催による大人のためのおはなし会、大人のためのわらべうたが企画されていることが報告された。

富来田公民館には、図書館職員が週1回訪問し、配架・整備をしていることも報告された。

④ 木更津市生涯学習フェスティバル実行委員

澤辺委員より、11月18日に開催された生涯学習フェスティバルの反省会の報告が行われた。

公民館は、PRのため各公民館の活動内容をパネルで掲示した。年々参加者が

1000人規模で減少し、今年は3000人となる厳しい状況となった。日程・内容の見直しや人気のある行事（例えば、子ども祭り）と一緒に開催し、集客増を望みたいなどの意見が出されたが、新年度にかけて継続審議していくとの報告がなされた。

(2) 平成27年度君公運新連・君公連合同研修会について

山田委員長より、2月9日（火）14時より袖ヶ浦市民会館で開催が予定されているとの報告がなされた。

(3) 平成27年度千葉県社会教育委員連絡協議会表彰受賞について

11月16日に開催された千葉県社会教育振興大会の席上で、山田委員長が受賞されたことの報告があった。

(4) その他

山口館長より、公民館研究集会の取り組みについて、「ふるさとを学ぶ」をテーマに、歴史、市史、自然等を含めた各館の実践発表やパネルトーク、関係サークル・団体の展示紹介等を計画している旨の報告がなされた。

*議長が報告事項に対する質問を求める。質問等はなく、予定していた審議を終了した。

平成28年1月6日

議事録署名人 木更津市立公民館運営審議会
委員長 山田 治子